

コンピューターウイルス感染（第2報）について

2022/03/08 掲載

この度、当団体のパソコン1台が、令和4年3月2日にコンピューターウイルス「Emotet（エモテット）」に感染し、当団体メールサーバーからメールアドレスを含むメール情報が窃取されたことにより、当団体職員を装った第三者からの不審なメールが複数の方へ送信されていることが確認されました。

当団体に係わる関係者の皆様には、多大なご迷惑をおかけしておりますことを深くお詫び申し上げます。

不審なメールでは、送信者の氏名表示とメールアドレスが異なっているという特徴があります。また、メールには、パスワード付きのZIPファイルや、マクロ形式のExcelファイル（拡張子がxlsm）が添付されております。このような添付ファイルを開くことで、ウイルスの感染や不正アクセスの恐れがあります。疑わしいメールが届いた際は、添付ファイルの開封や本文中のURLのクリックは行わず、直ちにメールごと削除していただきますようお願い申し上げます。

今回の事象を受け、被害拡大の防止に努めるとともに、今後、より一層の情報セキュリティ対策の強化に取り組んでまいります。

何卒、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

【参考】独立行政法人 情報処理推進機構

「Emotet（エモテット）」と呼ばれるウイルスへの感染を狙うメールについて

<https://www.ipa.go.jp/security/announce/20191202.html>